

# 2019（令和元）年の大阪経済

## －大阪経済は年後半に減速－

商工労働部（大阪産業経済リサーチ&デザインセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、2019（令和元）年の年間の経済動向を『2019（令和元）年のおおさか経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

2019年の大阪経済は、緩やかな回復基調にあったが、年後半に失速し、10月の消費税率引き上げ後には大きく落ち込んだ。

生産は概ね堅調な動きとなった。完全失業率は低い水準で推移し、就業者数が増加するなど、雇用は引き続き堅調に推移した。

### 【目次】

#### 要約

#### 第1章 大阪経済は年前半に減速

1. 国内経済は年後半に減速
2. 大阪府の景気は弱い動きで推移
3. 需要は堅調に推移
4. 生産・雇用は底堅く推移
5. 企業活動は弱含みで推移
6. 消費税率引き上げにより売上減少の見込み

#### 第2章 2019年の経済動向

##### 第1節 需要は外需が弱い動きの下、消費も年末に弱含み

1. 個人消費は持ち直すも10月以降弱含み
2. 住宅投資は弱含み
3. 民間設備投資は回復傾向が続く
4. 輸出入額は、3年ぶりの減少
5. 観光は自然災害などにより、日本人・外国人旅行者がともに失速

##### 第2節 生産は横ばい基調で推移

1. 生産活動は、2年ぶりに上昇したものの、変動の大きな1年に
2. 雇用は改善傾向が続く
3. 消費者物価はやや上昇、企業物価もやや上昇
4. 企業倒産件数は2年ぶりに増加

#### 第3章 2019年の企業動向

##### 第1節 企業の業況は回復の勢いが失速

1. 企業の業況は回復の勢いが失速し、低下傾向が強まる
2. 営業利益は下落傾向が強まり、資金繰りも漸減傾向
3. 雇用不足感はやや緩和の動き

##### 第2節 中小企業の業況は横ばいから下降に転じた

1. 出荷・売上高及び営業利益は悪化
2. 受注・販売は横ばいか低下傾向で推移し、業況は年後半に下降傾向に

#### 主要経済指標